

木更津市区長会連合会 50周年記念誌



木更津市区長会連合会

50周年記念誌



CONTENTS

- 01 発足50周年を迎えて
連合会長 北村 和則
- 02 区長会連合会結成50周年に寄せて
実行委員長 荻原 薫
- 03 区長会連合会創立50周年を祝して
木更津市長 渡辺 芳邦
- 04 志に感謝します
千葉県議会議員 高橋 浩
- 05 木更津市区長会連合会50周年に寄せて
千葉県議会議員 森 岳
- 06 発足50周年を祝して
木更津市議会議長 重城 正義
- 07 50周年記念に寄せて
木更津市教育委員会教育長 廣部 昌弘
- 09 木更津市について
- 13 おもな活動の記録
- 35 各地区の紹介
- 61 歴代役員名簿
- 65 規約
- 71 実行委員名簿

発足50周年を迎えて

木更津市区長会連合会

会長 北 村 和 則



木更津市区長会連合会発足50周年を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。

この記念すべき日を迎えられた事は、長年にわたり諸先輩方の先見的な発想と、ご努力、数々の業績の賜物と深く感謝申し上げますところであります。

私達、区長会連合会は常に福祉の向上、地域住民が明るく住み良い環境づくりのもと生活ができるよう、市・行政の推進のため、市民とのパイプ役を務めてきました。しかし、市の人口が増加する一方で、町内会、自治会への加入が減少していることが懸念され、課題のひとつでもあります。そしてこの2年間は、コロナウイルス感染拡大防止の為、連合会の総会も書面決議となり、講演会、新年情報交換会、視察研修旅行など、さまざまな事業が中止となりました。一刻も早いコロナ収束を願うばかりです。

このような中、区長会連合会は、各地域での市民が困っている事や要望に耳を傾け、市長との意見交換会を開催し理解をいただき、少しずつではありますが、市民の生活が安全で安心して過ごせるよう努めています。また、まちづくり協議会とも連携して防災・災害について会議を開き、避難所運営マニュアルなどを作成し、防災に強い木更津市となるよう、目指しています。これからも、区長会連合会が市政とのパイプ役として、地域住民と密着しまちづくりを進め、市民の皆様へいち早く情報提供をしていけるよう邁進していきます。

この度の記念事業、記念誌発刊にあたり、献身的に推進していただきました関係者の皆様に感謝し、御礼申し上げます。

結びに、木更津市区長会連合会の活動に対しまして、市民の皆様方には、より一層のご支援、ご協力をお願いすると共に、今後の木更津市政の更なる発展をご祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

区長会連合会

結成50周年に寄せて

区長会連合会
50周年記念事業実行委員会

実行委員長 荻 原 薫



木更津市区長会連合会結成50周年記念おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

区長会連合会は、令和3年コロナ禍の中で諸先輩方が築いてきたお蔭で、50周年を迎えることができる事に心より感謝申し上げます。

千葉県にも8月には、3回目の非常事態宣言が発令され、コロナ感染者が大勢でるなか、開催の可否に苦慮したが中止せず活動を制限し、記念式典は市制80周年記念の会場に区長会連合会の歴史をパネル展示する計画をしていくこととし、今年度は記念誌の発刊を行うことにしました。

木更津市はここ20年大きく変貌しました。アクアライン通行料800円時代を迎え、住宅街の造成や金田地区の商業用地に多くの大型店舗を招き、市外各地から大勢の人が押し寄せる、大商業地として発展してきました。

区長会連合会では、防災、防犯面での地域住民の安全確保に関する研修会や、自治会への加入促進、会員親睦等の事業への取り組みを通し、地域のつながりを重視した活動を行い、市政とのパイプ役を推し進めてまいりました。

渡辺市長の肝いりで、木更津市15地区に、まちづくり協議会を立上げ地域の住民が自分たちの身近な課題を自分たちの手で解決に導くことで、地域の活性化を進める重要な取組です。今後、過疎化が進む農村地域への取組が大きな課題となっています。

区長会連合会の今後、果たす役割は大きいものがあります。木更津市区長会連合会のますますのご発展を祈念申し上げます。

区長会連合会

創立50周年を祝して

木更津市長 渡 辺 芳 邦



木更津市区長会連合会が、創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、これまで50年の長きにわたり、地域の要として、多様化する地域社会の活性化に取り組まれ、様々な地域課題の解決を図るなど、今日の発展に至っておりますことは、区長会連合会歴代の役員の皆様をはじめ、会員の皆様のご尽力の賜と深く敬意を表します。

本市では、令和4年度に市制施行80周年という大きな節目となる年を迎えます。また、第2次基本計画『「地域創生」木更津イノベーション』の最終年度でもあり、基本構想に掲げる将来都市像「魅力あふれる創造都市きさらづ～東京湾岸の人とまちを結ぶ躍動するまち～」(目標年次：2030年)の実現に向け、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「第2期オーガニックなまちづくりアクションプラン」に基づく取り組みと連携させながら施策事業の総仕上げに向け取り組んでおります。

そのような中、本市は、これまで着実に積み重ねてきた施策の成果や東京湾アクアライン通行料金の引下げの波及効果により、まちの魅力や活力が向上し、人口は、これまでの増加傾向を維持しているところです。しかしながら、来るべき人口減少社会の到来、少子高齢化、価値観やライフスタイルの多様化、近所づきあいの希薄化など、地域社会が変化をしている中で、誰もが安心して暮らせるまちを築いていくためには、「市民力」、「地域力」を高めることが重要となりますので、区長会連合会の皆様には、これまで以上のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、区長会連合会が、創立50周年を契機とし、さらなる飛躍をとげられますことと、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

志に感謝します

千葉県議会議員

高 橋 浩



木更津市区長会連合会の50周年おめでとうございます。

本市は全国の高度成長が終わり、また少子化により経済の停滞、人口減少が進む中においても、経済的にはアクアライン800円化が継続され、去年は、金田地区に会員制倉庫型卸売小売のコストコがオープンし、また「ボルシェ・エクスペリエンスセンター東京」が今年の夏に開業しました。そして、そこに皆様方のような地域を思う志のおかげで地域の輪が作られ、住みやすく人々から選ばれる市ともなっております。本当にありがとうございます。

しかし、一昨年の台風15号を始めとする風水害、昨年からの新型コロナウイルス感染症と大変な日々が続いておりますが、コロナ禍の影響はこれから出てくると考えられ、気候変動も予断を許さない状況にもあります。

また、コロナ禍での国の調査では、令和2年度の全国の妊娠届出数が前年比で、何と4.8%減少しているとの結果が出てきているなど、少子化に歯止めがかかりません。

人は一人では生きてはいけません。子育て支援を拡充し子供を産み育てやすい市とし、人口を増やし未来に向かって子供たちが残れる地域とすることが必要であります。

今後もこれまでの様な様々な苦難はあると思います。しかし、皆様方を中心とする人と人とのつながり、地域の輪による支えあいにより克服していければと思います。是非これからもよろしくお願いします。

貴会のますますの発展を心からご祈念致します。

木更津市区長会連合会 50周年に寄せて

千葉県議会議員

森

岳



木更津市区長会連合会創立50周年という節目を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

長きに亘り、地域住民の皆様と行政とをつなぐ重要な役割を果たして下さっています。

社会の変化と共に様々に変貌を遂げられ、今日に至っている事を拝察致しますと歴代役員の皆様方の並々ならぬご労苦には深甚なる敬意と謝意を表します。

地域での人間関係が希薄になりつつある現在では、防犯や災害面でのリスクも大きく、さらに少子高齢化社会の進展による社会情勢の変化や生活環境の変化に伴い、コミュニティ活動の活性化や住民自治の振興が益々重要になってきております。

また同じ市の中でも地域によって子育て世帯が多い地域や少子高齢化が進行する地域など、課題が地区ごとに異なり、多種多様なコミュニティ創出のための協働のまちづくりが求められる中、区長会連合会の重要性や存在意義は今後益々大きくなるものと認識しております。

このような中、国はデジタル社会の実現に向けて令和3年9月1日にデジタル庁を発足しました。誰もがデジタルの恩恵を受けることとなると同時に、情報弱者を作らない、人に優しいデジタル化の実現に向け、私達も取り組んでいく必要性に迫られてきております。

今後も地域住民のコミュニティ強化と地域活性化へのご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに区長会連合会の更なる発展と、地域住民の皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

発足50周年を祝して

木更津市議会議長

重 城 正 義



木更津市区長会連合会の発足50周年にあたり、心よりお慶び申し上げます。

昭和46年11月の発足以来、50年の長きにわたり、区長会連合会の皆様方には市政伸展のためにひとかたならぬご尽力とご協力を賜っておりますことに感謝を申し上げます。また、今日の礎を築いてくださいました歴代役員、並びに関係者の方々に深甚なる敬意を表する次第であります。

近年、地域を取り巻く情勢は、少子高齢化、情報化、国際化など、社会状況が変化する中で、住民の意識の多様化や価値観の変化、また住民同士が互いに干渉を好まないといった時代背景、さらには地域自治への無関心層の増加の要因が重なり、地域社会の連携が希薄化するなど様々な課題を抱えております。

このような課題に対し進むべき方向を見定め、具体的な取り組みを行うなど、区長会の皆様方の活動やコミュニティとしての役割が益々高まっております。私たち市議会といたしましても、引き続き安全安心なまちづくりをはじめ、市民福祉の向上のために全力で取り組んでまいります。

今後とも、市政の一層の発展に向けて、相変わらぬ力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに記念誌の発刊に多大なるご尽力をいただきました関係各位に深く敬意を表するとともに、区長会連合会の益々のご発展と、皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念し、お祝いのことばといたします。

50周年記念に寄せて

木更津市教育委員会

教育長 廣 部 昌 弘



木更津市区長会連合会が昭和46年11月に発足して以来、まちづくりの中核の重責を担い、着実な歩みを重ねられ、めでたく50周年を迎えられました。心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

50年と言えば半世紀、昭和、平成、令和と3つの年号に渡る長期間の時の流れは著しく、様々な課題やご苦労があったことと拝察いたします。

そして、この間、教育委員会の推進事業及び各地域の小中学校の教育活動に対し、数多くのご支援、ご協力をいただきましたこと、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

昨今は、少子高齢化、核家族化が進行し、地域、家族の繋がり希薄化が、まちづくりの大きな課題となり、貴会におかれましてもご苦労されていることと推察いたします。そのことは、地域の教育力の低下にも影響し、地域における子どもたちの健全育成にも少なからず影を落としているものと思われます。

教育委員会といたしましては、今後も貴会のお力をお借りしながら、市内約1万人の児童生徒の健やかな成長を目指し、精一杯尽力してまいりますので、変わらぬご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますのご発展と関係者の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、50周年記念誌発刊のお祝いとさせていただきます。

木更津市について



木更津の概要

木更津市は、南房総・東京湾岸に位置する暖かなまちです。

東京湾アクアラインのたもとには盤洲干潟が広がり内陸部には万葉集にも登場する緑豊かな上総丘陵があります。

積雪はほとんどなく、コンディションが良い日には富士山を望むことができます。

面積 138.90km²

長さ 東西21.98km 南北14.54km

木更津の歴史

きさらづの語源は古事記の「きみさらず伝説」にあるという説があるほど、歴史あるまちです。江戸時代には町人文化も流入し、木更津を全国的に有名にした歌舞伎「切られ与三郎」や木更津甚句が誕生しました。港町として栄え、昭和後半はカーフェリーも活躍。

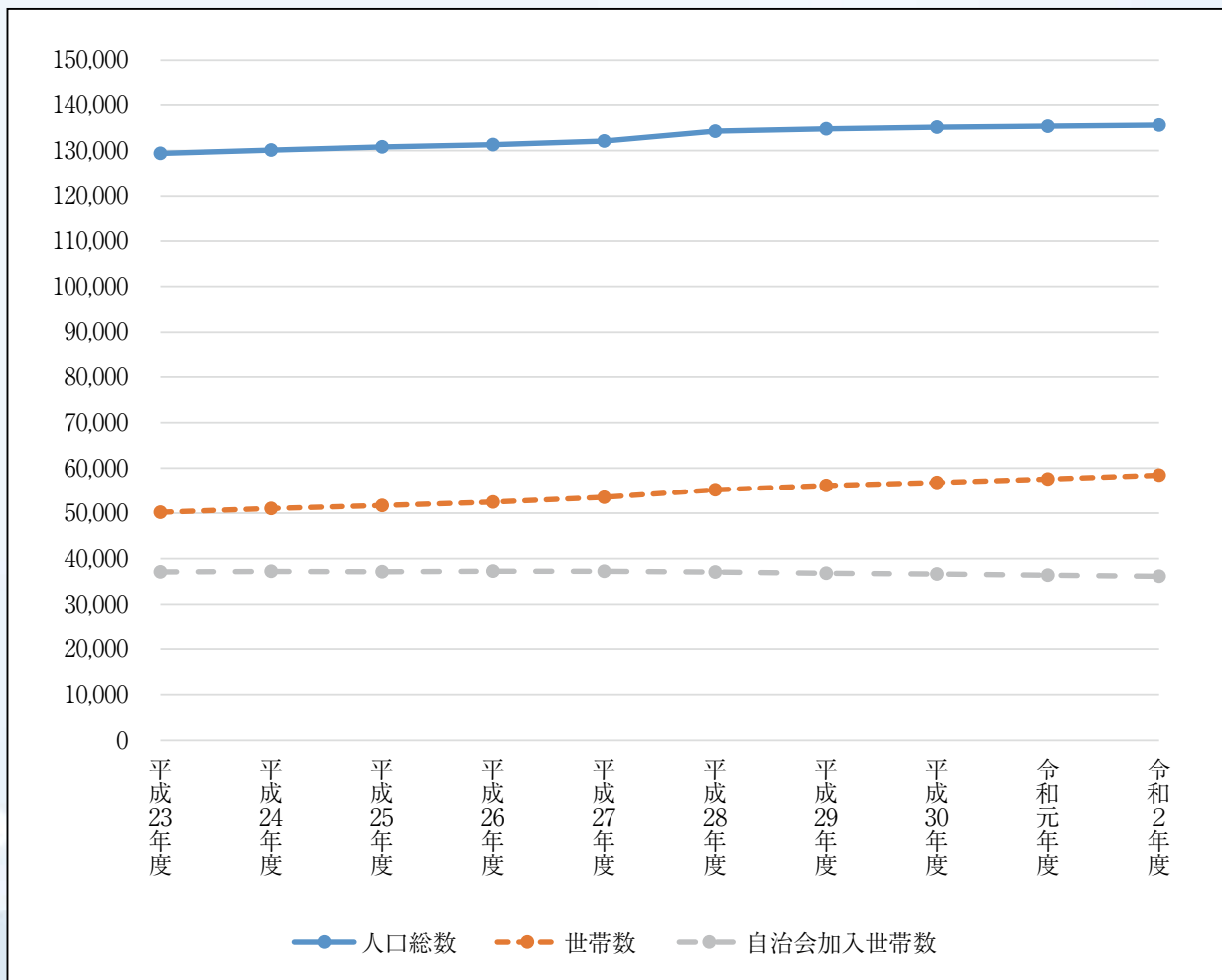
その後、陸上交通でも館山自動車道・圏央道（首都圏中央連絡自動車道）・東京湾アクアラインがクロスする、今も昔も交通の要となっています。童謡「証城寺の狸ばやし」の舞台の地として有名ですが、最近では、テレビドラマ「木更津キャッツアイ」や人気ロックグループ氣志團の出身地としても注目を浴びています。

木更津市ホームページより引用

木更津市 10年間の人口の推移

(毎年4月1日現在)

年度	常住人口（人）			世帯数	自治会加入 世帯数	自治会 加入率
	総数	男	女			
平成23年度	129,379	65,216	64,163	50,198	37,079	73.9%
平成24年度	130,119	65,700	64,419	51,033	37,201	72.9%
平成25年度	130,811	65,968	64,843	51,694	37,127	71.8%
平成26年度	131,297	66,163	65,134	52,461	37,236	71.0%
平成27年度	132,100	66,637	65,463	53,536	37,208	69.5%
平成28年度	134,281	67,446	66,835	55,180	37,050	67.1%
平成29年度	134,803	67,735	67,068	56,127	36,799	65.6%
平成30年度	135,162	68,055	67,107	56,813	36,619	64.5%
令和元年度	135,372	68,154	67,218	57,585	36,346	63.1%
令和2年度	135,615	68,309	67,306	58,420	36,116	61.8%



おもな活動の記録



おもな活動の記録

昭和46年度

月・日	内 容
10/30	木更津市区長会連合会（仮称）設立発起人会 出席者 木更津・桜井・岩根・鎌足・中郷・金田 富来田地区区長会連合会正副会長
11/8	木更津市区長会連合会設立総会
2/28	役員会 清見台地区加入承認

昭和47年度

月・日	内 容
4/22	総会
5/27	役員会 退職役員感謝状贈呈
11/11	役員会 波岡地区加入承認
12/22	街づくり標語カード作成、配布
1/27	役員会

昭和48年度

月・日	内 容
4/6	役員会
5/26	総会
7/7	役員会 退職役員感謝状贈呈
7/13	若潮国体を盛り上げる標語カード作成、配布
11/19	役員会
2/12	役員会

昭和49年度

月・日	内 容
5/10	役員会
5/28	総会
6/22	役員会 退職役員感謝状贈呈
8/23	役員会
〃	市営施設見学
10/8～9	先進都市視察
10/18	街づくり標語カード作成、配布
2/6	役員会

昭和50年度

月・日	内 容
4/30	有害雑草駆除推進協議会役員会
5/14	各地区排水路へグッピー放流
5/15～31	有害雑草駆除実施

5/28	総会
6/11	有害雑草駆除作業実施打合せ
〃	役員会
6/16	幹旋苗木視察
7/2	役員会 退職役員感謝状贈呈
7/9	港まつり“やっさいもっさい踊り”運営委員会
8/14	“やっさいもっさい踊り”参加
8/19	有害雑草駆除打合せ
9/1～30	有害雑草駆除実施
9/7	役員会
10/6	矢那川清掃作業打合せ
10/15	幹旋苗木配布
10/17	街づくり標語カード作成、配布
10/25	矢那川清掃作業参加
2/12	役員会
3/11	河川清掃打合せ
3/15	交通事故防止運動ポスター配布
3/25	海岸及び河川清掃参加

昭和51年度

月・日	内 容
4/1	緑の羽根募金協力
4/28	有害雑草駆除推進協議会総会
〃	役員会
5/15～31	役員会有害雑草駆除実施
5/17	幹旋苗木視察
5/18	総会
6/11	役員会 退職役員感謝状贈呈
6/19	港まつり打合せ
7/5	港まつり打合せ
7/21	交通安全推進スキンシップ作戦参加
8/14	“やっさいもっさい踊り”参加
8/19	交通安全推進スキンシップ作戦参加
8/28	役員会
9/3	バイパス建設促進に関し市長申入れ
9/15～30	有害雑草駆除実施
9/18	海岸清掃打合せ
10/5	海岸清掃参加
10/16	役員会
10/19	矢那川清掃打合せ
10/20	電話帳無料配布実施
11/5	幹旋苗木配布
11/6	矢那川清掃参加

1/24	役員会
3/1	河川清掃打合せ
3/25	河川清掃参加

昭和52年度

月・日	内 容
4/1	緑の羽根募金協力
4/22	役員会
5/28	総会 祇園・請西地区加入承認
6/24	役員会 退職役員感謝状贈呈
8/16	“やっさいもっさい踊り” 参加
9/2	役員会
9/17	海岸及び河川清掃現地へヘリコプター視察
10/5	海岸及び河川清掃参加
10/15～16	視察
10/27	千葉県主催総合防災訓練参加
11/5	幹旋苗木配布
11/9	矢那川清掃参加
11/26	新日鉄見学
〃	役員会
1/25	役員会
3/19	海岸及び河川清掃参加

昭和53年度

月・日	内 容
4/1	緑の羽根募金協力
4/3	桜苗木植樹
5/6	役員会
5/30	総会
7/5	役員会 退職役員感謝状贈呈
8/8	道路問題に関して千葉国道事務所及び湾岸道路調査事務所へ要望書提出
8/14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9/11	海岸清掃打合せ
9/22	河川清掃打合せ
9/24	交通安全市民大会参加
10/3	海岸清掃参加
10/11	矢那川清掃参加
10/12～13	先進都市視察
11/3	幹旋苗木配布
1/18	役員会
2/1	河川清掃打合せ
2/15	茂原自治会役員視察のため来訪

3 / 5	埼玉県南部自治会連合会役員視察のため来訪
3 / 24	役員会

昭和54年度

月・日	内 容
4 / 3	婦人生活学級
5 / 4	正副会長会議
5 / 9	正副会長、石川市長訪問
5 / 11	交通安全推進協議会主催交通安全啓蒙パレード参加
5 / 14	幹旋苗木視察
5 / 25	総会
6 / 13	正副会長会議
7 / 5	役員会 退職役員感謝状贈呈
7 / 10	埼玉県行田市自治会役員視察のため来訪
8 / 14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9 / 5	正副会長会議
9 / 10	海岸清掃打合せ
9 / 22	第2回交通安全市民大会参加
10 / 8 ~ 9	先進都市視察
10 / 22	正副会長、区長会要望書を市長に提出
11 / 19	新日鉄見学
~ 20	役員会
1 / 18	役員会
2 / 13	正副会長会議
1 / 28	役員会
3 / 21	正副会長会議

昭和55年度

月・日	内 容
4 / 1	緑の羽根募金協力
4 / 3	春の交通安全運動行事打合せ
4 / 4	正副会長会議
4 / 10	区長会連合会結成10周年記念祝賀会
5 / 7	幹旋苗木視察
5 / 19	総会
6 / 3	日本河川協会総会で表彰状を授与される
6 / 27	港まつり打合せ
7 / 4	役員会 退職役員感謝状贈呈
7 / 26	資源ごみ回収打合せ
8 / 14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9 / 12	海岸清掃打合せ
10 / 3	海岸清掃参加
10 / 9	河川清掃打合せ

10/20	矢那川清掃参加
10/21~22	先進都市視察
11/ 5	幹旋苗木配布
11/19	正副会長会議
12/ 1	交通事故防止運動参加
～	“飲酒運転追放署名運動” 推進
2/28	目標 32,000人、達成 36,155人
12/ 5	役員会
1/23	役員会
2/ 2	正副会長会議
〃	記念植樹に関し都市部長面談
3/ 2	正副会長、記念植樹現地視察
3/20	正副会長会議
3/26	市営施設見学
〃	役員会

昭和56年度

月・日	内 容
3/24	記念植樹 桜、椿、さつき各200本
4/23	市民手帳配布
4/28	散乱ごみ収集打合せ
〃	正副会長会議
5/12	市政協力員会議
5/22	幹旋苗木視察
5/30	総会
6/ 7	散乱ごみ収集参加
6/25	役員会 退職役員感謝状贈呈
8/14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9/18	正副会長会議
9/26	赤い羽根共同募金募集事務打合せ
10/ 1	矢那川清掃打合せ
10/23~24	先進都市視察
10/24	矢那川清掃参加
11/ 1	幹旋苗木配布
11/ 2	正副会長会議
11/ 7	千葉県環境緑化推進会議 清水保氏緑化推進功労者表彰を受賞
11/ 8	散乱ごみ収集参加
1/21	賀詞交歓会
3/13	正副会長会議
3/30	青少年育成木更津市民会議

昭和57年度

月・日	内 容
4/26	幹旋苗木視察
〃	役員会
5/22	総会
5/30	散乱ごみ収集参加
5/31	正副会長会議
6/24	港まつり打合せ
6/26	役員会 退職役員感謝状贈呈
8/14	“やっさいもっさい踊り” 参加
8/31	正副会長会議
9/30	矢那川清掃参加
10/6	幹旋苗木視察
10/12	海岸清掃参加
10/13	散乱ごみ収集打合せ
10/20～21	先進都市視察
10/25	市制施行40周年記念植樹（桜100本）
11/6	市制施行40周年記念式典
11/12	市制施行40周年記念 タイムカプセル埋蔵式
11/14	散乱ごみ収集参加
12/16	正副会長会議
1/20	役員会
2/7	正副会長会議
2/27	河川清掃参加
3/5	連合会長1日消防長
3/10	役員会

昭和58年度

月・日	内 容
4/16	正副会長会議
4/26	幹旋苗木視察
5/9	散乱ごみ収集打合せ
〃	交通安全推進協議会総会
5/21	総会
6/5	散乱ごみ収集参加
6/9	正副会長会議
6/25	役員会 退職役員感謝状贈呈
8/14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9/9	海岸清掃打合せ
10/1	海岸清掃参加
10/3	散乱ごみ収集打合せ
10/14～15	先進都市視察
11/6	散乱ごみ収集参加

11/28	埼玉県狭山市入間地区本市自治会視察のため来訪
1/20	賀詞交歓会
2/9	河川清掃打合せ
3/5	役員会
〃	河川清掃参加

昭和59年度

月・日	内 容
4/23	幹旋苗木視察
5/7	散乱ごみ収集打合せ
5/19	総会
5/24	市制40周年記念もっこく植樹
6/3	散乱ごみ収集参加
6/22	錦鯉の放流
6/23	役員会 退職役員感謝状贈呈
7/3	正副会長会議
7/10	市民総合福祉会館竣工式 感謝状授与される
8/14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9/3	交通安全市民大会開催打合せ
9/7	海岸清掃打合せ
9/29	交通安全市民大会
10/16～17	先進都市視察
10/24	矢那川清掃
11/11	散乱ごみ収集
12/4	正副会長会議
1/18	賀詞交歓会
2/12	河川清掃打合せ
2/27	正副会長会議
3/10	河川清掃
3/11	役員会

昭和60年度

月・日	内 容
4/22	幹旋苗木視察
5/2	散乱ごみ収集打合せ
5/18	総会
5/30	正副会長会議
6/2	散乱ごみ収集参加
6/22	役員会 退職役員感謝状贈呈
7/23	少年自然の家竣工式
8/2	正副会長会議
8/14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9/6	海岸清掃打合せ

10/25	矢那川清掃
10/30	クリーンセンター起工式
11/5～6	先進都市視察
11/10	散乱ごみ収集
11/25	栃木県鹿沼市自治会連合会視察のため来訪
1/7	消防出初式
1/16	正副会長会議
1/27	賀詞交歓会
3/9	河川清掃参加
3/10	正副会長会議
3/26	理事会

昭和61年度

月・日	内 容
4/28	幹旋苗木視察
5/7	散乱ごみ収集打合せ
5/24	総会
6/1	散乱ごみ収集参加
6/17	正副会長会議
7/10	静岡県三島市区長会視察のため来訪
7/19	役員会 退職役員感謝状贈呈
8/14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9/3	海岸清掃打合せ
9/25	矢那川清掃打合せ
10/13	海岸清掃参加
10/14～15	先進都市視察
10/24	幹旋苗木視察
11/9	散乱ごみ収集
11/15	祇園地区区長と会議
12/1	正副会長会議
1/20	賀詞交歓会
2/10	河川清掃打合せ
2/24	正副会長会議
3/1	河川清掃参加
3/19	理事会

昭和62年度

月・日	内 容
5/6	散乱ごみ収集打合せ
5/21	日赤募金事務打合せ
5/30	総会
5/31	散乱ごみ収集
6/11	正副会長会議

6/26	役員会 退職役員感謝状贈呈
7/20	幹旋苗木視察
7/22	温水プール起工式
8/14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9/16	海岸清掃打合せ
10/6	矢那川清掃打合せ
10/21～22	先進都市視察
11/3	小櫃堰公園竣工式
12/16	正副会長会議
1/7	消防出初式
1/25	賀詞交歓会
2/4	河川清掃実施打合せ
2/24	正副会長会議
3/7	緑の羽根募金打合せ
3/18	理事会
3/29	クリーンセンター竣工式

昭和63年度

月・日	内 容
5/10	散乱ごみ収集市民運動打合せ
5/13	日赤募金事務打合せ
5/27	幹旋苗木視察
6/4	総会
6/5	散乱ごみ収集市民運動
6/8	正副会長会議
6/27	理事会
8/14	“やっさいもっさい踊り” 参加
8/23	地区区長会議
9/5	共同募金事務打合せ会
9/28	海岸清掃、矢那川清掃打合せ
11/1～2	先進都市視察
11/6	散乱ごみ収集
11/26	幹旋苗木配布
11/28	役員会
1/7	消防出初式
1/25	役員会
2/14	河川清掃打合せ
2/22	役員会
2/27	緑の羽根募金打合せ

平成元年度

月・日	内 容
6 / 3	総会
6 / 4	散乱ごみ収集市民運動参加
6 / 14	役員会
6 / 27	理事会 退職役員感謝状贈呈
6 / 28	錦鯉放流会
7 / 5	幹旋苗木視察
8 / 14	“やっさいもっさい踊り” 参加
8 / 25	役員会
8 / 26	“やっさいもっさい踊り” 反省会
9 / 2	祇園区長会連合会発足式
10 / 25	矢那川清掃
10 / 30～31	先進都市視察
11 / 5	散乱ごみ収集市民運動参加
12 / 4	先進都市視察市長報告会
1 / 7	消防出初式
1 / 24	役員会
2 / 28	緑の羽根募金打合せ
3 / 29	役員会

平成2年度

月・日	内 容
4 / 9	姉妹都市研究会
4 / 17	県民センター開所式
5 / 11	まちの美化推進事業実施打合せ
5 / 15	姉妹都市研究会
5 / 30	日赤社資募集事務打合せ
6 / 3	散乱ごみ収集市民運動
6 / 13	役員会
6 / 16	総会
6 / 21	幹旋苗木視察
6 / 26	錦鯉放流会
7 / 6	理事会 退職役員感謝状贈呈
8 / 14	“やっさいもっさい踊り” 参加
9 / 1	6 都県市合同防災訓練
9 / 8	交通安全市民大会
9 / 17	横断道路地域活性化イベント部会視察
9 / 24	青年会議所 25 周年記念式
9 / 28	“やっさいもっさい踊り” 反省会
10 / 5	港まつり反省会
10 / 8	駅前放置自転車クリーンキャンペーン打合せ
10 / 11	海岸清掃参加

10/16	矢那川清掃実施
11/ 5	姉妹都市研究会解散式
11/11	散乱ごみ収集市民運動
11/19～20	先進都市視察
11/22	食と緑の博覧会見学
11/30	下水処理場本館竣工式
12/ 5	先進都市視察報告会
1/25	役員会
3/25	街づくり型ショッピングセンター視察
3/29	役員会

平成3年度

月・日	内 容
5/16	役員会
6/ 2	散乱ごみ収集市民運動
6/10	役員会
6/15	総会
6/25	錦鯉放流会
7/ 3	幹旋苗木視察
7/ 8	役員会
7/23	理事会
8/21	20周年記念誌部会
9/ 9	理事会
9/19	20周年記念式典部会
10/ 8	20周年記念誌部会
10/17	理事会
10/22	矢那川清掃
11/ 8～9	先進都市視察
11/10	散乱ごみ収集市民運動
11/12	20周年記念式典部会
11/21	20周年記念式典
2/ 3	先進都市視察市長報告会
2/18	役員会
3/11	福島県郡山市町内会連合会視察のため来訪
3/15	河川清掃に参加
3/31	役員会

平成4年度

月・日	内 容
5/12	理事会
5/19	市民憲章碑除幕式
〃	総会
5/27	役員会

5/27	板橋区長会連合会との交歓会
5/31	散乱ごみ収集市民運動
8/21	役員会
9/13～14	先進都市視察
10/7	暴力団追放市民決起大会
10/8	矢那川清掃
10/9	先進都市視察市長報告会
11/8	散乱ごみ収集市民運動
2/2	役員新年会
2/24	河川清掃
3/30	役員会

平成6年度

月・日	内 容
5/30	理事会
6/3	総会
8/19	矢那川清掃
11/30～12/1	先進都市視察
1/20	役員会
1/26	兵庫県南部地震の義援金を寄託
1/30	役員会
2/7	視察報告会並びに新年会

平成7年度

月・日	内 容
5/29	役員会
6/9	理事会
6/23	総会
7/21	役員会
9/23	交通安全市民大会参加
10/9	役員会
11/14～15	先進都市視察
2/5	役員会
2/5	新年会
3/29	視察研修
〃	先進都市視察市長報告会

平成9年度

月・日	内 容
5/9	役員会
5/24	理事会
6/2	総会
7/22	役員会

9 / 6	臨時総会
9 / 27	交通安全市民大会参加
10 / 20	埼玉県春日部市地区区長会視察のため来訪
11 / 25	茨城県つくば市区会連合会視察のため来訪
12 / 1 ~ 2	先進都市視察
2 / 2	視察報告会並びに新年会
3 / 23	施設見学

平成10年度

月・日	内 容
4 / 30	役員会
5 / 9	理事会
5 / 28	総会
7 / 17	役員会
9 / 26	交通安全市民大会参加
10 / 15 ~ 16	先進都市視察
10 / 29	栃木県宇都宮市自治会連合会視察のため来訪
2 / 5	視察報告会並びに新年会

平成12年度

月・日	内 容
4 / 27	役員会
5 / 20	理事会
6 / 6	総会
6 / 28	理事会
9 / 30	交通安全市民大会参加
11 / 14 ~ 15	先進都市視察
12 / 25	視察報告会並びに忘年会
2 / 9	福島県いわき市行政視察のため来訪

平成13年度

月・日	内 容
4 / 17	役員会
5 / 20	理事会
6 / 5	総会
6 / 28	理事会
8 / 28	分担金検討委員会
11 / 8 ~ 9	先進都市視察
11 / 26	分担金検討委員会
11 / 26	視察報告会並びに懇親会

平成15年度

月・日	内 容
4/18	役員会
5/15	臨時役員会
5/31	理事会
6/6	総会
7/16	埼玉県朝霞市からの視察研修
7/18	理事会
11/13～14	先進都市視察
12/9	役員会
2/12	研修会並びに新年会

平成18年度

月・日	内 容
5/11	役員会
5/20	理事会
6/22	総会
9/4	役員会
10/26～27	先進都市視察
12/21	役員会
1/16	新年会

平成21年度

月・日	内 容
5/12	役員会
5/23	理事会
6/26	総会
10/15	役員会
12/8	理事会
1/18	新年会
2/5～6	視察研修
2/18～19	回覧板作成
3/2	役員会

平成22年度

月・日	内 容
5/13	役員会
5/22	理事会
6/25	総会
7/20	米沢市地区委員会視察研修の対応
12/6	理事会

1 / 17	理事会
1 / 17	新年会
2 / 2	視察研修
3 月	回覧板作成

平成26年度

月・日	内 容
5 / 12	役員会
5 / 31	理事会
6 / 26	総会
7 / 1	千葉県宅地建物取引業協会及び木更津市と木更津市における自治会への加入促進に関する協定を結ぶ
9 / 29	役員会
11 / 21	理事会
1 / 26	役員会
1 / 26	情報交換会
2 / 16	視察研修
2 月	回覧板作成

平成28年度

月・日	内 容
5 / 11	役員会
5 / 21	理事会
6 / 27	総会
11 / 8	役員会
12 / 21	理事会
12 / 21	講演会
1 / 30	役員会
1 / 30	情報交換会
2 / 20	視察研修
3 月	回覧板作成

平成29年度

月・日	内 容
5 / 8	役員会
5 / 20	理事会
6 / 26	総会
8 / 2	臨時役員会
8 / 22	市長との意見交換会
11 / 8	役員会
12 / 13	理事会
12 / 13	講演会

1 / 25	役員会
1 / 31	情報交換会
2 / 6	視察研修
3 月	回覧板作成

平成30年度

月・日	内 容
5 / 9	役員会
5 / 19	理事会
6 / 19	総会
9 / 28	臨時役員会
11 / 15	理事会
12 / 10	講演会
12 / 10	役員会
2 / 13	視察研修
3 月	回覧板作成

令和元年度

月・日	内 容
5 / 14	役員会
5 / 18	理事会
6 / 19	総会
7 / 30	役員会
8 / 23	市長との意見交換会
9 / 30	役員会
11 / 22	理事会
11 / 22	講演会
1 / 31	役員会
1 / 31	情報交換会
2 / 12	視察研修
3 月	回覧板・自治会加入促進チラシ作成

令和2年度

月・日	内 容
6 / 26	役員会
7 / 10	総会
8 / 25	役員会
9 / 14	臨時役員会
10 月	回覧板作成
11 / 12	役員会
12 / 24	市長との意見交換会

結成10周年記念祝賀会



20周年記念 木更津市民憲章碑 除幕式





20周年 記念式典・祝賀会



平成4年9月 先進都市視察





平成4年10月
横断道路洋上視察



平成22年2月
福島第2原子力発電所
視察研修



平成30年2月
横浜市民防災センター
視察研修



令和3年12月
市長との意見交換会



The background is a solid green color. Overlaid on this is a complex, abstract geometric pattern. It consists of numerous thin, light green lines that connect various points. Some of these points are small, solid green dots, while others are small, bright white dots that appear to be glowing. The lines and dots form a network of interconnected triangles and polygons of various sizes, creating a sense of depth and structure. The overall effect is a modern, digital, or network-like aesthetic.

各地区の紹介

木更津地区

木更津市区長会連合会設立50周年誠におめでとうございます。

2021年5月15日（土）コロナ禍の中、中央公民館アクア木更津B館3階多目的ホールにおいて令和3年度の木更津地区区長会総会が行われました。本年度の区長・町内会長をご紹介します。新田区・鈴木久登志、南町区睦会・高木厚行、弁天町区・石井隆、八幡町区・北村和則、本町区・松本信夫、大和町第一区・鈴木孝、大和町第二区・金綱茂、南片町区・安田雄二、仲片町区・木村功、北片町区・安田昭夫、北町区・山本俊夫、新宿区・遠山鎮宏、吾妻区・小原規男、中里一丁目・小沼利浩、貝渕区・岡村佳泰、桜町区・志渡誠一、幸町区・萱野隆、文京区・北見敏男、大和町親交会・山田恒夫、稲荷町区・鈴木正義の20地区20名で構成しています。

木更津地区区長会は複雑な地域構成になっております。新田区・貝渕区・桜町区・幸町区・文京区の5地区は二中学区で住民会議も木更津第二中学校区青少年健全育成住民会議に属し、南町区睦会・弁天町区・八幡町区・本町区・大和町第一区、大和町第二区・南片町区・仲片町区・北片町区・北町区・新宿区・吾妻区・中里一丁目・大和町親交会・稲荷町区の15地区は一中学区で木更津第一中学校区住民会議に属しております。また、地区社会福祉協議会は二小地区社協、一中東部地区社協、一中西部地区社協の3つに分かれており、消防団は第一分団第一部、第一分団第二部、第三分団第一部に分かれているなど様々な組織で難しく入り組んでいます。

そうした中でも苦労したことは、2017年6月の議会において中央公民館に関しての一般質問があり、耐震診断結果が震度6強の地震が起きると倒壊の危険性があるとの事で、安全性を鑑み早期に仮移転をするようにとのことでした。

そこで木一中学区内22町内会の区長・町内会長で木更津駅周辺の活性化並びに高齢者の公民館利用を考え、移転先に木更津駅西口のスパークルシティ木更津本館にさせていただくよう渡辺芳邦木更津市長に連名で要望書を提出させて頂きました。結果として私共の意をくんでいただき2018年7月21日に現在の中央公民館に仮移転できました。

さて、木更津地区区長会では総会、木更津市消防操法大会視察激励、木更津市ごみゼロ運動参加、木更津港まつりやっさいもっさいの受付、役員会、ちばアクアラインマラソンへのボランティア協力、消防団早出し放水競技大会視察応援、各公民館での文化祭開催、敬老のつどい開催、消防出初式の視察、新年情報交換会、監査会が主な事業で研修等ありませんが、それぞれの地区で住民会議や消防団の後援、地区社会福祉協議会、祭礼等様々な活動をしています。その活動の一端を写真でご紹介させていただきます。



2006（H18）10/1＝消防団第一分団による木更津第一小学校にて第13回消防ふれあいスクール



2006（H18）11/12＝木更津市消防早出し放水競技大会（第一分団第一部は28.3秒で準優勝）



2007 (H19) 2 / 3 = 八剱八幡神社節分祭 (仲片町区木更津ばやし保存会による追儺式)



2007 (H19) 10/14 = 一中学区住民会議による子どもミニイベント (中央公民館において)



2010 (H22) 10 / 2 = 第 17 回消防ふれあいスクールにおいて木一小児童による消火バケツリレー



2010 (H22) 10/17 = 一中学区住民会議による子どもミニイベント (中央公民館において)



2011 (H23) 3 / 13 = 3 月 11 日発生した東日本大震災津波状況を警報解除後に調査 (矢那川沿い)



2013 (H25) 2 / 3 = 第 1 回ポンポコラリー (木一中学生ボランティアとの打合せ)



2013 (H25) 11/16 = 木更津駅西口の 10 町内会によりさかんだなまつりを開催



2013 (H25) 12 / 8 = 第 2 回ポンポコラリー (木更津地区区長会会長池田利一氏は 12/19 に逝去)



2014 (H26) 10/1 = 一中学区住民会議による木一小クリーン活動（地域住民と共にゴミ拾い）



2014 (H26) 11/28 = 木一中生徒と住民による花いっぱい運動（木一中住民会議）



2014 (H26) 12/13 = 中央公民館設立 50 周年記念式典（渡辺芳邦市長の祝辞）



2015 (H27) 7/11 = 八劔八幡神社夏季例祭（発興祭を終え大神輿を八幡町区に渡御）



2015 (H27) 11/7 = 一中西部地区社会福祉協議会主催の敬老のつどい（対象者 241 名が参加）



2016 (H28) 2/25 = 区長会連合会による視察研修会（東京ソナエリアにて防災体験）



2018 (H30) 7/21 = 仮移転となった中央公民館のオープニングセレモニー（スパークルシティ）



2019 (R1) 11/24 = わがまち探検ポンポコラリー（笑顔で木一小校門を出発する子ども達）

桜井地区

区長会連合会設立50周年を迎え心よりお祝い申し上げます。

桜井地区では諸先輩かたがたのご苦勞された土台に築かれた地域の年間行事のノウハウによって6月には、敬老会。7月には、諏訪神社祭礼。10月には、地区文化祭というように役員の皆様には息つく暇もなくあっという間に歳月がたってしまいます。準備段階より開催、片付け、反省会までのマニュアルを残していただいている故に大変助けられています。

令和2年、3年は、コロナウイルス拡大防止というかつて経験したことのない緊急事態宣言発令に伴い、集会はもちろん年間行事のすべてを中止とせざるを得ない環境の中で区長会連合会設立50周年をむかえました。

活動に制限のある中節目でもあることから、日頃手がけることのできなかった地域の問題点の解消に着目して、実施する機会を得ることができました。

活動報告

その1, 災害防止の観点から河川氾濫を想定して町内を流れる鳥田川河川内の雑木を撤去
県のアダプトプログラムに「鳥田川の景観を守る会」を登録して活動を継続しています。

その2, 地域の氏神として代々地域を守ってくださる「諏訪神社」境内の環境整備として樹木の伐採を実施しました。

その3, イノシシによる被害が多発するために鳥獣駆除対策に取り組みました。
猟友会の協力をお願いし罠の設置と罠資格の取得に着手しました。

ウィズコロナ時代により地域住民との連帯を強化して、共生、共栄、共義の想いで今後ますます安心、安全な地域作りに貢献できますよう努力していきたいと思います。

先輩たちの築き上げた伝統を後世に伝える役割を果たせば幸いです。



令和2年8月 鳥田川河川内景観



令和3年2月 氏神様「諏訪神社下社」

請西地区

請西区自治会の歩みと活動

木更津市区長会連合会発足50周年記念の節目にあたり、本記念誌が発行されますこと誠におめでとうございます。区長会連合会は、市政発展のために行政と力を合わせての活動は、市民が生活する上での重要な役割を果たしてきたと思います。今後もさらなる充実発展をご祈念申し上げます。

さて、請西区自治会は、四地区からなり昭和40年中頃までは、純農村地帯でありましたが、東京湾沿岸の埋め立てとともに京葉工業地帯の一翼を担う地域となり人口が急激に増加し、その住宅地の受け皿として、田畑山林が開発され新興住宅地となりました。

自治会が発足して、43年程の月日が経過し新旧住民の融和が図られ住民同士の絆を深めるための活動が盛んに取り組まれています。主な年間行事を紹介しますと、無病息災と五穀豊穡を願うての祭礼、夏の夕涼みを兼ねての盆踊り大会、台風や地震に備えての防災訓練、また、「地域の公園みんなで美しく」を合言葉に地区内の公園掃除を毎月1回、ボランティアの皆さん参加のもと実施しています。この他にサークル活動やレク的な行事が、八崎公園集会場を中心に開催され、多数の皆さんが参加し有意義な時間を過ごしています。ただし昨年と今年は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から自粛や縮小を余儀なくされている状況で残念です。早くウイルスが収束し平穏な生活が戻ってくるように願うばかりです。

今後自治会として、各種の取り組みを通して地域の皆様の輪を広げ安全で安心できる地域を目指してさらに進んで行きたいと考えています。



太田地区



平成18年 太田山金鈴まつり



平成20年 太田山金鈴まつり



平成20年 太田山金鈴まつり修祓式



平成19年 太田地区祭礼



平成19年 太田地区祭礼



平成22年 祭礼子ども太鼓練習



平成21年 太田連合体育祭



平成21年 太田連合体育祭



平成21年 太田地区防災講習会



令和元年 太田地区避難訓練



平成19年 太田地区盆踊り



平成22年 太田地区盆踊り

真舟地区

定例活動（通年真舟自治会全体の取り組み）

1. 合同防災・講習会



毎年9月には市防災無線「訓練！訓練！真舟地区に火災発生」の合図と共に、町内一斉に避難開始、一次避難所の中央公園に集合したのち消防職員による消火器消火訓練等々の指導を受けます。平成24年には市指定避難所である私学紅陵&志學館高校の協力を得て各学校体育館への避難を実施し、実施に際しては各高校の寮生諸君が避難訓練に参加（右上写真）してくれました。

2. 真舟フェスティバル



毎年8月には真舟フェスティバルが開催されます。1日目まふねまつりは子供神輿&大人神輿の神幸、2日目まふねおどりは盆踊りで老若男女の沢山の人達が参加します。会場では地域の中、高校の吹奏楽&マーチングバンド&和太鼓等々が披露されて喝采をあげ、屋台には子供たちが列をつくり、最後は豪華景品の抽選会で終焉となります。

3. 環境整備



5月ごみゼロに併せ、12月年末一斉清掃を大鷲木更津線側道の清掃整備を実施する。

4. 再生資源回収



町内を2グループに分割して、1グループごと毎月収集を実施する。

5. シルバー事業&日帰り旅行



毎年研修見学旅行と日帰り旅行を各1回実施する。

6. 異世代交流会



現代の子供たちが、遊びの中で接することの少ない昔遊びを年配者と共有する。

7. 鏡開き



各自がしめ飾り・門松を持ち寄り納めながら、鏡開きをもって賀詞交換を行う。

8. 歩こう会



健康管理を目的にピクニック程度の歩こう会を年1回実施する。

地域活性ボランティア活動

1. 子供会 & 育成会



夏休み中のラジオ体操、バスハイク、餅つき、クリスマス会等々を適時実施する。

2. 盛年会



自治会が開催する諸行事で準備・運営等下支えを力強く協力する。

3. 老人会



グランドゴルフ・カラオケ・誕生会等々の集いは和楽のひと時です。

4. 自警団



月1回の夜間、平日毎日の巡回パトロール実施、自警喚起の旗は町内108ヶ所に設置。

5. 児童交通誘導



真舟小通学路の地域4か所にある交差点で登校時は毎日輪番で見守り活動を展開する。

6. 花花俱樂部



真舟メイン通り（大鷲木更津線）の側道を利用し、花いっぱい運動を展開する。

7. げんき体操



毎週月曜日毎に継続開催する体操を通じ、腰通、膝痛、肥満、転倒の防止や改善効果を目的として実施する。

8. やっさいもっさい



真舟自治会連のもと毎年多数の老若男女が参加、複数回の入賞を目指している。

9. 鎌倉道保存会



鎌倉道の連絡階段設営、草刈り、居雑物等々清掃整備を適時実施する。

10. ふまねっと運動



認可されたサポーター&インストラクターのもとで歩行改善・認知予防等々の運動を日曜日毎に実施する。

想い出



波岡地区

昭和57年7月波岡区長会設立

平成 8年 : 高速バス波岡地区乗り入れ署名運動
平成 9年 8月 : 大久保会館落成
平成 9年11月 : 大久保新駅設立準備会開催
平成 9年11月 : 日帰り視察研修（アクアライン）
平成10年 2月 : まちづくり懇談会開催
平成10年 4月 : 日帰り視察研修（お台場）
平成11年11月 : 中野～畑沢線の早期建設要望書提出
平成12年 2月 : 視察研修（銚子）
平成14年 2月 : 視察研修（鴨川・アカデミアパーク）
平成16年 2月 : 視察研修（千葉県西部防災センター）
平成17年 2月 : 視察研修（東京防災センター）
平成18年 3月 : 視察研修（福島第2原子力発電所）
平成20年 2月 : 視察研修（本所防災館）
平成20年12月 : 視察研修（新潟柏崎原子力発電所）
平成20年 : 木更津市消防署波岡出張所への救急車早期配備要望
平成20年 : KGM（仮称）君津廃棄物最終処分場建設反対の継続
平成21年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて
平成22年 2月 : 視察研修（塩原）
平成22年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて
平成22年11月 : 視察研修（栃木）
平成24年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて
平成24年11月 : 視察研修（福島県・いわき市）
平成25年 4月 : 木更津市消防署波岡出張所への救急車配備
平成25年 6月 : 平野軍治会長・木更津市区長連合会会長就任
平成25年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて
平成25年11月 : 視察研修（横須賀市リサイクルプラザ）
平成26年 3月 : 君津廃棄物最終処分場（KGM）県より不許可通達
平成26年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて
平成26年11月 : 視察研修（東京ガス供給指令センター）
平成27年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて
平成27年11月 : 視察研修（安房聖苑、厚木斎場）
平成27年度 : 火葬場拡張に伴う説明会（計8回）
平成28年 2月 : 視察研修（東京臨海広域防災公園）
平成28年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて
平成28年度 : 火葬場拡張に伴う説明会（計6回）
平成29年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて
平成29年12月 : 視察研修（横須賀市民防災センター）
平成29年度 : 火葬場拡張に伴う説明会（計3回）
平成30年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて
平成30年12月 : 視察研修（神奈川県総合防災センター）
令和 元年10月 : 波岡区長会全体会議 市長、市議を迎えて



平成24年視察研修 いわき市



平成27年視察研修 厚木斎場



平成29年全体会議 市長講演



平成29年全体会議 市長講演



平成29年視察研修 横須賀市民防災センター



平成29年視察研修 横須賀市民防災センター



平成30年視察研修 神奈川総合防災センター



平成30年全体会議 市長講演

長須賀地区



令和 2 年北長須賀大溝払い



令和 2 年日枝神社富士講建立



令和 2 年日枝神社しめ縄作り



平成 2 5 年長須賀三区三獅子

祇園地区



祇園 4 丁目 夏祭り



祇園東部弥生会 草刈り



西部弥生町 公園清掃



祇園区 須賀神社祭礼



祇園地区長合同自主防災講座



東清川地区

東清川地区では、市当局への陳情・請願活動を行い少しでも住みよい町を願って諸活動を行っています。

下記の写真は主な活動記録ですが、歴史的な新型コロナウイルス感染拡大によって、令和2年度・令和3年度については、公園草刈り清掃、避難訓練以外の行事は止む無く中止に至っています。



ごみゼロ運動



祭礼神輿祭り



防災訓練



防災訓練



公民館運営協力委員会移動研修



まちづくり協議会立ち上げ総会



東清川地区まち協 防災部会



感謝祭秋祭り

岩根東地区

1. 概要

岩根東地区区長会は、平成25年5月、岩根地区区長会（現、岩根西地区区長会を含む）の発展的解散に伴い、同年6月、巖根駅東側の17町会により、「岩根東地区区長会（以下、区長会）」を結成、新たな活動をスタートしました。

平成27年11月には、区長会を主体に、関係35団体の参加を得て「岩根東地区まちづくり協議会（以下、まち協）」を設立、現在は住民相互の親睦を目的とした「いわねEASTふれあい祭り」の開催や、掲示板整備による広報活動の充実、市と連携した防災訓練の実施等々、ほとんどの行事が、この「まち協」を中心に取り組みが進められています。

一方、急速に進む高齢化社会にあって、ボランティア活動の維持、継続が大きな課題となっていますが、“生き・生き”、“安全・安心”が実感できる岩根東地区を目指し、今後も、区長会が中心となって、地域の活性化に努めてまいります。

2. 活動の歩み

平成25年	5月18日	岩根地区区長会解散（岩根東、岩根西に2分割）
〃	6月22日	岩根東地区区長会設立
平成27年	11月22日	岩根東地区まちづくり協議会設立
平成28年	10月 9日	第1回いわねEASTふれあい祭り」開催
平成29年	10月29日	岩根公民館開設60周年記念式典 兼 木更津市市制75周年記念行事開催
平成30年	10月14日	木更津市地域一体型防災訓練参加
令和 2年	3月23日	木更津市指定避難所（高柳小、岩根中、岩根公民館） 地域版避難所開設・運営マニュアル策定、市へ提出
令和 3年	7月23日	移動スーパー運行開始（西山区、住吉町、若葉町）
〃	10月 2日	高齢者生活支援運営委員会発足

3. 区長会の構成 （※世帯数は、令和3年4月1日現在）

連合町内会	単一町内会	町会数	世帯数
高柳地区 連合町内会	高砂1丁目、2丁目、3丁目 本郷1丁目、2丁目、3丁目 高柳1丁目、2丁目、3丁目 若葉町、若葉台、自衛隊FG地区	12	2016
住吉町 連合町内会	住吉第1～第4 住吉第5～第7	2	301
栄町親和会	—	1	95
住吉団地親和会	—	1	45
西山区町内会	—	1	322
（計）	—	17	2779

4. 活動の記録



岩根EASTふれあい祭り



防災訓練



公民館60周年



桜まつり

岩根西地区

木更津市区長会連合会 50 周年記念に向けて

岩根西地区は近年地区に新居や福祉施設の建設が多く見受けられ様になり、開発事業者と市、小櫃堰との連携を密にして、地域の環境を重視する観点から特に用水、排水路の整備に心がけております。

整備する箇所は数多くありますが、根気よく諦めないことで先に一步踏み込むにはどうするかを考えています。

また市の財政には、限りがあるため自治会の加入促進を計り、岩根西地区の住民がより良い環境で生活できるように願い、地区役員が一体感を持って活動しております。

また、地域防災活動は水害等が懸念される地域で、防衛省や学校、公民館と連携を図り、又住民同士の声掛け合いにより少しでも日常から安全意識を高めるにはどうすれば良いかを考えねばなりません。消防団員については、台風の直後道路の通行が倒木でさまたげられた際、仕事の帰宅後の暗い中サーチライト点灯し、真っ先にチェーンソーで撤去したことが2019年台風でありましたが、まさに早い対応に感激しました。

そのような中、江川区では水害に備えて救命ボートを購入したことは画期的でしたが、これも区役員の発案から決定し、消防団員他にもライフジャケットをサイズ別に19着購入するなど住民の安全を心がけております。

最後に木更津市区長会連合会の益々の発展を祈りますと共に、各地域におかれましてはそれぞれ課題が多々ありますが良い方向性に向かいますことを祈念しております。



鎌足地区



平成 29 年防災訓練



平成 30 年 防災訓練



令和 3 年防災訓練

防災訓練は地区の消防や鎌足地区町づくり協議会との合同で実施しています。

通常は備品の管理や緊急連絡網の訓練を春に行い秋には木更津市の防災訓練に合わせての避難訓練を不定期に実施しています、これ以外にも鎌フェスの場を借りての放水訓練や地震体験等を出来る場合に実施しています。



平成 23 年地区文化祭



平成 27 年 地区文化祭



平成 30 年 地区文化祭

地区文化祭は公民館やまちづくり協議会協議会との供催で毎年実施しています（コロナ禍により昨年、今年中止）

地区の各種団体の一年間の活動成果の発表や小中学校の生徒の発表をメインに地区の野菜生産農家さんの直売コーナーや芸能関係の発表が人気です。

また普段ふれあいの少ない敬老者を呼んで一日楽しんでいただいています。

金田地区

金田地区区長連合会は、現在12地区（東、仲宿、下宿、鯨、浜戸、新町、高須、瓜倉、見立、畔戸、中野、牛込）で構成している。現在、全体で世帯数3,044世帯、人口6,439人（令和3年9月現在）である。連合会の目的は、「会員相互の親睦と融和を図り、各区の発展と地域住民の福祉向上に寄与する。」とあり、年間を通じて活動をしている。

各区長は、金田地区まちづくり協議会をはじめ、社会福祉協議会、青少年育成会議、消防後援会、交通安全協会後援会など、金田地区の各種団体の中心メンバーとして所属している。

そして、それぞれの団体で実施される諸行事（敬老会、文化祭、コミュニティカフェ、避難訓練、干潟クリーン作戦など）には、各区の参加者の取りまとめをはじめ、運営の中心メンバーとして活動している。

また、金田ふるさと振興推進協議会を組織し、地域住民のために活動する諸団体（小学校、中学校、小中PTA、青少年相談員、青少年補導員など）に助成を行っている。

近年、地区内に大型商業施設などが進出しているが、その際にも当該企業と地区住民の橋渡しなどの役割も担っている。

平成30年度末に公民館が閉館し、31年4月に新たに「金田地域交流センター（きさてらす）」がオープンした。センターを運営する指定管理者と連携し、文化祭などの諸行事にも取り組み、新しい街づくりを進め始めている。

各区では、梵天立てやお祭りなど、古くからの伝統行事も行われている一方で、新興住宅地の造成による人口増加も進んでおり、新旧住民の交流、地区内の交通問題、環境整備などの課題にも取り組んでいる。



金田地区文化祭



金田地域交流センター避難所運営



かねだコミュニティカフェ



盤洲干潟クリーン作戦

中郷地区



平成28年4月 小櫃川さくら祭り



平成23年7月 ふれあい夏祭り



平成31年3月 中郷中学校の閉校式典



令和2年5月 中郷中学校の解体工事



令和1年11月 まち協ふれあいコンサート in 中郷【中郷小学校の図書館】



令和2年10月 房総ローヴァーズ木更津FC_中郷もりあげ隊【のぼり旗設置】

富来田地区

富来田地区区長会は31区（馬來田地区16区、富岡地区15区）の区長をもって組織されており、会員相互の連携を密にし、富来田地区の発展と地区内市民の福祉向上に寄与することを目的としています。

会 議

（1）総会

定期総会は毎年1回、事業年度終了後2ヶ月以内に開催する。臨時総会は会長が必要と認めたときや全区長の5分の1以上から請求があったときに開催する。

総会は令和2年、3年は書面総会での開催となり、臨時総会は令和2年2回開催されたがいずれも書面開催となった。

（2）役員会

役員会は会長が必要と認める都度開催する。審議内容は総会に付議する事項、事業の運営に関する事項であり、令和2年度は5回開催された。

（3）支部会議

支部会議は馬來田支部会議と富岡支部会議に分けて開催され昨年度はそれぞれ1回開催され、審議内容は木更津市長への要望事項の提案、地域共通の課題等である。

主な事業

（1）情報交換会の開催

毎年5月の区長会総会終了後、市長、県議、市議員を招いての情報交換会を開催しております。（令和2年、3年は中止）

（2）区長会視察研修会の開催

例年、年1回視察研修会を会費制にて実施しております。（令和2年、3年は中止）

（3）門松カード無料配布（全世帯）

例年11月中旬頃を目途に準備し、1世帯あたり2枚として各区に配布しております。

（4）学習・経験交流会の開催

情報交換会の一環として、その時期にあった題材をテーマに企画し開催しております。

例えば令和2年は「自主防災組織づくりに向けての説明会」を実施いたしました。

富来田地区まちづくり協議会との関連事業

（1）いっせんぼく遊歩道草刈り・とみおか「ロマン街道の会」草刈り

まちづくり協議会・いっせんぼく部会に馬來田地区区長（16区長）が参加し、毎年5月から9月の間、毎月遊歩道の草刈を実施しています。

とみおか「ロマン街道の会」草刈りにも富岡地区区長（15区長）が参加しています。

(2) 富来田地区納涼大会の開催

例年8月初旬にまちづくり協議会の主催行事として、来場者3,000人の大規模イベントを開催しています。区長会は「富来田地区まちづくり協議会」の一員として全区長が富来田地区納涼大会実行委員会に参加し、実務担当として活動致します。

(令和2年、3年は中止)

(3) コスモスフェスティバル

例年10月の第2日曜日にまちづくり協議会の主催行事として開催され、区長会も参加致します。

(4) 富来田地区市民文化祭・富岡地区文化祭

例年文化の日に計画実施され区長会も協賛します。

(5) 富来田地区ふるさと元旦マラソン

富来田地区関連諸団体への参加

(1) 富来田地区まちづくり協議会

区長会長がまちづくり協議会の副会長、区長会副会長が会計・監事として参加しています。

(2) 富来田地区社会福祉協議会

例年5月中旬に区長会と同日開催で総会が開催され、全区長が評議員として参加します。

令和2年、3年は書面総会にて開催されました。

(3) 富来田小学校・中学校 学校評議会

例年2回開催され、区長会長が評議員として参加しています。

(4) 富来田小学校教育後援会

区長会長が後援会長となり、全区長が常任委員になり参加しています。

(5) 富来田地区青少年健全育成会議

(6) 富来田地区「敬老の集い」

(7) 富来田地区包括支援センター 地域ケア会議

例年12月中旬に開催され区長会長が出席します。



平成30年10月コスモスフェスティバル



平成30年8月富来田地区納涼祭り

清見台地区

主な年間行事

春 季	・桜祭り ・子ども会 新入生歓迎会 ・公園草刈り ・総会 ・親睦バーベキュー大会 ・市内一斉ごみゼロ運動に参加
夏 季	・公園草刈り ・祭礼前夜祭 ・祭礼 ・スクールアドベンチャーキャンプ支援 ・盆踊り櫓組立て ・子ども会キャンプ ・ラジオ体操
秋 季	・幹線道路清掃 ・公園草刈り ・祇園小学校バザー支援 ・祇園小学校区ウォークラリー大会支援 ・日帰り親睦旅行
冬 季	・餅つき大会 ・祇園小学校お楽しみ会支援 ・火の用心夜回り ・御霊神社ゆく年くる年支援 ・集会所大掃除 ・節分祭 ・防災講習会



文 化 祭



文化祭（展示のみ）



通 学 合 宿



避難所開設訓練



防災イベント



防災イベント

歴代役員名簿

	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度
会 長	遠山 正夫	遠山 正夫	遠山 正夫	遠山 正夫	遠山 正夫
副 会 長	山口 平吉	山口 平吉	山口 平吉	吉村 俊雄	吉村 俊雄
副 会 長	棚倉 忠一	伊藤 実	平野 武夫	鴫田 理	武内 熊吉
副 会 長	石井 忠雄	曾根 清	曾根 清	出口 猛	宮崎 正雄
副 会 長				前田 石松	前田 石松
会 計	吉村 俊雄	吉村 俊雄	吉村 俊雄	見渡 正	見渡 正
会 計				曾根 重治	曾根 重治
監 事	曾根 清	加藤 十郎	川島 芳雄	金沢 岩雄	金沢 岩雄
監 事	渡辺 謙三	白井 利男	出口 隆	清水 俊	桑田 連

	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度
会 長	遠山 正夫	遠山 正夫	遠山 正夫	遠山 正夫	遠山 正夫
副 会 長	吉村 俊雄	吉村 俊雄	吉村 俊雄	吉村 俊雄	吉村 俊雄
副 会 長	武内 熊吉	武内 熊吉	武内 熊吉	武内 熊吉	武内 熊吉
副 会 長	明石 正雄	明石 正雄	大村 金蔵	大村 金蔵	大村 金蔵
副 会 長	篠田 一恵	石橋 郁夫	石橋 郁夫	清水 保	清水 保
会 計	川島 芳雄	金沢 岩雄	荒井 幸蔵	竹内 士郎	竹内 士郎
会 計	鴫田 理	清宮 長郎	岩沢 功	宮崎 芳治	叶川 正雄
監 事	金沢 岩雄	鈴木 太一	鈴木 太一	森田 友衛	川口 文教
監 事	桑田 連	山内 祝	清水 保	鈴木 三郎	鈴木 三郎

	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度
会 長	吉村 俊雄	吉村 俊雄	吉村 俊雄	吉村 俊雄	吉村 俊雄
副 会 長	川島 芳雄	川島 芳雄	川島 芳雄	川島 芳雄	竹内 士郎
副 会 長	清水 保	清水 保	清水 保	清水 保	石渡 七郎
副 会 長	叶川 正雄	桐谷 新三	桐谷 新三	桐谷 新三	鈴木 庄作
副 会 長	武内 熊吉	武内 熊吉	武内 熊吉	武内 熊吉	武内 熊吉
副 会 長	鈴木 三郎	鈴木 三郎	松浦 力雄	岩田 定幸	岩田 定幸
会 計	竹内 士郎	竹内 士郎	竹内 士郎	竹内 士郎	石井 泰治
会 計	岩沢 功	高浦 留治	高浦 留治	江原 正	江原 正
監 事	川口 文教	石井 泰治	石井 泰治	石井 泰治	鳥飼 和夫
監 事	桐谷 新三	江原 正	江原 正	地曳 量郎	近藤 富男

	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
会 長	吉村 俊雄	武内 熊吉	武内 熊吉	清水 保	清水 保
副 会 長	武内 熊吉	竹内 士郎	竹内 士郎	鳥飼 和夫	藤浪 要
副 会 長	岩田 定幸	清水 保	清水 保	近藤 富男	亀石 辰己
副 会 長	石井 泰治	大湊 吉夫	平野 光一	平野 光一	近藤 富男
副 会 長	石渡 七郎	元木 重郎	元木 重郎	実形 好	実形 好
副 会 長	鈴木 庄作	石橋 郁夫	前田 弘次	星野 享永	鈴木 昭三
会 計	桐石 已治	鳥飼 和夫	鳥飼 和夫	井上 勉	市川 昇
会 計	江原 正	江原 正	江原 正	江原 正	江原 正
監 事	鳥飼 和夫	堀口 文男	井上 勉	曾田 義一	曾田 義一
監 事	近藤 富男	池田 一彦	池田 一彦	永尾 喜則	井上 勉

	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度
会 長	清水 保	清水 保	清水 保	清水 保	斉藤 儀平
副 会 長	藤浪 要	藤浪 要	藤浪 要	藤浪 要	藤浪 要
副 会 長	亀石 辰己	渡辺 栄	渡辺 栄	渡辺 栄	斉藤 三郎
副 会 長	江原 正	斉藤 儀平	斉藤 儀平	斉藤 儀平	田中 重夫
副 会 長	篠田 孝	篠田 孝	斉藤 三郎	斉藤 三郎	平野 軍治
副 会 長	鈴木 昭三	鈴木 昭三	鈴木 厚	田中 重夫	水野 清
会 計	斎藤 儀平	曾田 義一	平野 軍治	平野 軍治	池田 幹男
会 計	渡辺 栄	平野 軍治		池田 幹男	鳥海 静
監 事	曾田 義一	鳥海 静	鳥海 静	鳥飼 明二郎	鳥飼 明二郎
監 事	石井 利一	石井 利一	石井 利一	鳥海 静	玉造 福壽

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
会 長	斉藤 儀平	斉藤 三郎	斉藤 三郎	斉藤 三郎	斉藤 三郎
副 会 長	松本 善男	松本 善男	松本 善男	松本 善男	松本 善男
副 会 長	玉造 福壽	玉造 福壽	玉造 福壽	玉造 福壽	玉造 福壽
副 会 長	藤浪 要	鳥海 静	鳥海 静	鳥海 静	竹内 善次
副 会 長	斉藤 三郎	乙部 嘉彦	乙部 嘉彦	乙部 嘉彦	乙部 嘉彦
副 会 長	田中 重夫	吉田 譲	佐久間 丈夫	佐久間 丈夫	佐久間 丈夫
会 計	平田 辰雄	平田 辰雄	平田 辰雄	三輪 光雄	三輪 光雄
会 計	鳥海 静	谷 和夫	谷 和夫	谷 和夫	谷 和夫
監 事	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治
監 事	鳥飼 明二郎	岩瀬 茂	岩瀬 茂	岩瀬 茂	岩瀬 茂

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
会 長	斉藤 三郎	斉藤 三郎	斉藤 三郎	斉藤 三郎	玉造 福壽
副 会 長	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治
副 会 長	玉造 福壽	玉造 福壽	玉造 福壽	玉造 福壽	佐々木 繁
副 会 長	竹内 善次	竹内 善次	竹内 善次	竹内 善次	伊藤 貞男
副 会 長	乙部 嘉彦	乙部 嘉彦	池田 利一	池田 利一	池田 利一
副 会 長	鈴木 和一	鈴木 和一	鈴木 和一	鈴木 和一	小川 清志
会 計	新堀 武雄	佐々木 繁	佐々木 繁	佐々木 繁	泉 幸雄
会 計	松本 璣	松本 璣	羽田 禄雄	羽田 禄雄	内田 實
監 事	江口 操	泉 幸雄	泉 幸雄	泉 幸雄	渡利 明
監 事	岩瀬 茂	羽田 禄雄	馬越 勝	馬越 勝	高浦 泰造

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
会 長	玉造 福壽	玉造 福壽	玉造 福壽	池田 利一	池田 利一
副 会 長	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治
副 会 長	佐々木 繁	高浦 泰造	高浦 泰造	田中 昭治	田中 昭治
副 会 長	伊藤 貞男	伊藤 貞男	伊藤 貞男	伊藤 貞男	伊藤 貞男
副 会 長	池田 利一	池田 利一	池田 利一	村田 茂	村田 茂
副 会 長	小川 清志	山口 嘉男	山口 嘉男	山口 嘉男	山口 嘉男
会 計	内田 實	内田 實	村田 茂	須田 忠充	古藤田 憲之
会 計	吉田 功吉	吉田 功吉	吉田 功吉	吉田 功吉	吉田 功吉
監 事	渡利 明	渡利 明	渡利 明	渡利 明	渡利 明
監 事	高浦 泰造	田中 昭治	田中 昭治	荻原 薫	荻原 薫

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
会 長	池田 利一	池田 利一	平野 軍治	平野 軍治	平野 軍治
副 会 長	平野 軍治	平野 軍治	小籠 治弘	梅澤 千加夫	梅澤 千加夫
副 会 長	田中 昭治	田中 昭治	鈴木 正	鈴木 正	長谷川 吉一
副 会 長	伊藤 貞男	伊藤 貞男	福田 豊稔	福田 豊稔	福田 豊稔
副 会 長	渡利 明	渡利 明	渡利 明	渡利 明	鴫田 宏
副 会 長	荻原 薫	荻原 薫	荻原 薫	荻原 薫	荻原 薫
会 計	福田 豊稔	福田 豊稔	長谷川 吉一	長谷川 吉一	青木 健
会 計	鈴木 正	鈴木 正	萱野 隆	萱野 隆	萱野 隆
監 事	井菅 清志	井菅 清志	梅澤 千加夫	山口 喜好	清水 一太郎
監 事	小籠 治弘	小籠 治弘	中山 正時	中山 正時	江野澤 政広

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
会 長	平野 軍治	梅澤 千加夫	梅澤 千加夫	荻原 薫	荻原 薫
副 会 長	福田 豊稔	荻原 薫	荻原 薫	長谷川 吉一	長谷川 吉一
副 会 長	荻原 薫	鴫田 宏	鴫田 宏	北村 和則	北村 和則
副 会 長	梅澤 千加夫	長谷川 吉一	長谷川 吉一	青木 健	青木 健
副 会 長	長谷川 吉一	北村 和則	北村 和則	清水 一太郎	清水 一太郎
副 会 長	鴫田 宏	青木 健	青木 健	齊藤 富士男	齊藤 富士男
会 計	萱野 隆	清水 一太郎	清水 一太郎	浅川 榮治	浅川 榮治
会 計	青木 健	齊藤 富士男	齊藤 富士男	前田 直志	保坂 貞雄
監 事	清水 一太郎	岡田 一三	岡田 一三	岡田 一三	岡田 一三
監 事	齊藤 富士男	浅川 榮治	浅川 榮治	重城 薫	重城 薫

	令和3年度
会 長	北村 和則
副 会 長	長谷川 吉一
副 会 長	浅川 榮治
副 会 長	青木 健
副 会 長	清水 一太郎
副 会 長	齊藤 富士男
会 計	岡田 一三
会 計	鈴木 達也
監 事	佐藤 泰史
監 事	重城 薫



令和3年度 区長会連合会役員

規約

木更津市区長会連合会規約

(目 的)

第1条 この会は、住民の融和と連帯を基調とする木更津市内の区（自治会、町内会等を含む。以下「区等」という。）が相互の緊密な連絡調整を図るとともに、市政との円滑な協力関係を推進し、木更津市の発展と市民の福祉向上に寄与することを目的とする。

(名 称)

第2条 この会は、木更津市区長会連合会（以下「本会」という。）と称する。

(会 員)

第3条 本会は、会の目的に賛同する別表1に定める地区区長会により構成され、この地区区長会から選出された代議員をもって組織する。

2 地区区長会は、前項の代議員を、地区区長会を構成する区等の長のうちから選出するものとする。

3 代議員の定数は別に定める。

(事 業)

第4条 本会は、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 区等に共通する問題についての調査研究と情報交換に関すること。
- (2) 市の行政と連携し、市政の円滑な推進を図ること。
- (3) その他目的達成に必要な事項。

(部会の設置)

第5条 事業推進のため、部会を設置することができる。

2 部会設置については、別に要綱を定めるものとする。

(役 員)

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 5名
- (3) 会 計 2名

(4) 監 事 2名

(5) 理 事 16名

2 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

なお、会長職については、2期4年を限度とする。

3 補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の選出)

第7条 会長、副会長、会計及び監事は、選考委員会を設けて選出し、総会において承認を得る。

2 理事は、別表1に定める地区区長会から、第3条第2項の規定により選出された代議員の中から各1名を選出する。

(役員の職務)

第8条 会長は、本会を代表して会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときその職務を代理する。

3 会計は、会計事務を司る。

4 監事は、本会の会計を監査する。

5 理事は、理事会に付議された事項を審議する。

(顧 問)

第9条 本会に顧問1名を置く。顧問は前会長をもってこれにあてる。

(相談役)

第10条 本会に相談役を置くことができる。会長が選任し、役員会において承認を得る。

(会 議)

第11条 会議は、総会、役員会、及び理事会とし、役員会、及び理事会の議長は会長が務める。

2 総会の議長は、出席者の中から選出する。

(総 会)

第12条 総会は、年1回会長が招集する。ただし、必要に応じて臨時総会を開くことができる。

2 総会において決議、又は承認する事項は次のとおりとする。

- (1) 事業報告及び決算
- (2) 事業計画及び予算
- (3) 規約の変更
- (4) 役員の選出
- (5) その他、会長が必要と認めた事項

(役員会)

第13条 役員会は、会長、副会長、会計及び監事を構成員とし、会長が必要に応じて招集する。

2 役員会において審議する事項は、次のとおりとする。

- (1) 本会の運営に関すること。
- (2) 総会に付議する事項
- (3) その他、会長が必要と認めた事項

(理事会)

第14条 理事会は、会長が必要に応じて招集する。

- (1) 総会に付議する事項
- (2) 総会で委任を受けた事項
- (3) その他、会長が必要と認めた事項

(議 事)

第15条 会議の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長の決定するところによる。

(経 費)

第16条 本会の経費は、別表1に定める地区区長会が同条第2項により納入する分担金、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

2 分担金は、別表1に定める地区の世帯数に12円を乗じ、100円未満の端数を切捨て求めた額とする。ただし、世帯数については前年度の自治振興交付金（毎年4月1日現在）の申請世帯数とする。

(会計年度)

第17条 本会の会計年度は、4月1日から、翌年3月31日までとする。

(事務局)

第18条 本会の事務局は、木更津市役所内に置く。

(委 任)

第19条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

制 定 昭和46年11月 8日

改 正 昭和48年 5月26日
(中略)

平成13年 6月28日

平成14年 6月 5日

平成15年 6月 6日

平成18年 6月22日

平成20年 6月23日

平成25年 6月28日

令和 元年 6月19日

別表1

No.	地 区 名	No.	地 区 名	No.	地 区 名
1	木 更 津	7	長 須 賀	13	金 田
2	桜 井	8	祇 園	14	中 郷
3	請 西	9	東 清 川	15	富 来 田
4	太 田	10	岩 根 東	16	清 見 台
5	真 舟	11	岩 根 西		
6	波 岡	12	鎌 足		

木更津市区長会連合会50周年記念事業実行委員会規約

第1章 名称及び事務局

(名称・事務局)

第1条 本会は「木更津市区長会連合会50周年記念事業実行委員会」といい、事務局を市民部市民活動支援課内に置く。

第2章 目的及び活動

(目的)

第2条 本会は、50周年記念事業を実施することにより、木更津市区長会連合会の歴史を振り返るとともに、区長会連合会であるという役割を改めて認識し、本事業を通して地域づくりに向けての機運と基盤を高め、今後の活動の更なる発展に資することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するために次のことを行う。

- (1) 記念事業の計画と実施に関すること。
- (2) 記念事業の実施のための補助金・寄付金等に関すること。
- (3) その他、記念事業実施のために必要と認められること。

第3章 組織・役員

(組織・役員)

第4条 本会は、区長会連合会役員、理事、代議員及び事務局（市民活動支援課職員）をもって組織するものとする。
事務局と式典部会、広報部会、会計部会の3

つの部会から構成され、次の役員及び推進部員をおく。

- | | |
|----------------------|-------|
| (1) 実行委員長 | 1名 |
| (2) 副実行委員長 | 3名 |
| (3) 式典部 部長 | 1名 |
| 部員 | 若干名 |
| (4) 広報部 部長 | 1名 |
| 部員 | 各地区1名 |
| (5) 会計部 部長 | 1名 |
| (6) 監査 | 1名 |
| (7) 事務局 市民活動支援課 担当職員 | |

(任 務)

第5条 事務局及び各部、監査の任務は次のとおりとする。

- (1) 事務局は、区長会連合会役員と連携を図りながら実行委員会の企画・運営を行う。
- (2) 式典部は、記念式典の企画・運営を行う。
- (3) 広報部は、設立50周年記念事業の資料収集及び記念誌の発行を行う。
- (4) 会計部は、第2条の本会の目的を達成するための予算編成と管理・運用を行う。
- (5) 監査は、本会の会計監査を行う。

(選出・任期)

第6条 役員及び構成員の選出並びに任期は次の通りとする。

- (1) 実行委員長及び副実行委員長は、令和2年度及び令和3年度の区長会連合会の役員の中から選出する。
- (2) 各部長、会計監査は実行委員長が委嘱する。
- (3) 実行委員長、副実行委員長、各部長、監査の任期は、本会が解散するまでとする。

第4章 会計

(経 費)

第7条 本会の活動に要する経費は、補助金・寄付金等の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

第8条 本会の会計年度は、実行委員会設立に始まり、会の解散までとする。

第5章 会議

(決議機関)

第9条 この会は、記念事業推進のための最高決議機関である。

- (1) この会は、委員長がこれを招集する。
- (2) この会では、役員の選出、規約の改廃、記念事業計画、予算、決算、その他必要な事項を審議、決議する。
- (3) 議案は、出席会員の過半数をもって決定する。

第10条 本会の円滑な事業推進のために、各部長は、必要に応じて部会を招集する。

第6章 解散

(解 散)

第11条 この会の第2条の目的を完遂した時をもって解散する。

(附 則)

この規約は令和3年6月25日より実施する。

この会の運営にさらに細則が必要な場合、別に事務局内規で定める。

実行委員名簿

50周年記念事業実行委員名簿

役 職 名	氏 名	
実行委員長	荻原 薫	
副実行委員長	北村 和則 ・ 長谷川 吉一 ・ 青木 健	
会計	浅川 榮治	
監査	岡田 一三	
式典部 部長 長谷川 吉一		
齊藤 富士男	清水 一太郎	重城 薫
鈴木 達也	佐藤 泰史	
広報部 部長 青木 健		
高木 厚行	小出崎 賢二	齋藤 勇
安田 武夫	安部 敏男	小森 繁之
堀口 鉄雄	鈴木 眞	田中 信和
鳥飼 光雄	新堀 浩司	棚倉 廣一
進藤 才幸	原田 忠吉	小倉 三男
小林 一裕		

編集後記

市政との円滑な協力関係を推進し、木更津市の発展と市民の福祉向上に寄与することを目的として50年、この節目に記念事業の一環として記念誌発行の為に広報部会が設けられました。

しかし、第1回広報部会は開催したものの、コロナ禍でその後の全体会は中止を余儀なくされ、各部会員により、地域の活動報告の資料提供をして頂きました。

また、渡辺市長始め、高橋・森両県議会議員、重城市議会議長、廣部教育長からはご祝辞をお寄せ頂き、無事に記念誌を発行することが出来ました。末尾ながら、ご協力を賜りました関係各位に心から感謝申し上げます。

令和3年12月

広報部長 青木 健

木更津市区長会連合会50周年記念誌

発行	令和3年12月
編集者	木更津市区長会連合会50周年記念事業実行委員会 広報部長 青木 健
発行者	木更津市区長会連合会50周年記念事業実行委員会 実行委員長 荻原 薫
裏表紙デザイン	市の木椿の花弁と木更津市区長会連合会の文字を藤浪副会長の案を基にデザイン、20周年を記念し制定
住所	〒292-8501 木更津市朝日3-10-19 木更津市役所市民活動支援課 TEL 0438(23)7491 FAX 0438(25)3566
印刷・製本	有限会社 ナラモト印刷

